

利尻山 山行報告

【山域・山】北海道

【形式】ハイキング

【日程天気】2019年6月15日(土)晴れ 夕方から雨

【参加者】CL 堀田 会計 磯部 記録 吉瀬

【行程】 鴛泊登山口 5:15 -第1見晴台-第2見晴台-長官山-利尻山避難小屋-大山神社到着 11:15 (下山は同じコースをピストン)



6月15日(土)朝 宿の玄関前から利尻岳が見えました。朝食兼昼食のゴージャス弁当をザックに入れ宿の車で鴛泊登山口に送ってもらいました。

登山口には山に他の植物の種子を入れないために靴底を洗うスペースがありました。登山口は標高220m。1,718mの頂上を往復する標準コースタイムは約10時間と長丁場。昨年利尻岳に登っているCLは普段の半分のスピードでゆっくりと歩き、1時間毎に10分程度の休憩というペースだったので植物の写真を撮ったり、見晴台から礼文島を見たりして楽しみながら登りました。7合目からは胸突き八丁とよばれる急登になり、時々高度計で高度を確認し、着実に高度を上げるのを喜びながら進み、長官山に着くと目の前に利尻山が見え元気が出ました。風が強かったので上着をはおり進みました。心配していた9合目からのザレバは階段状に整備されていて、無事頂上に到着。コースタイムどおりの6時間で着いたので嬉しかったです。登頂時山頂は風が静まっていたのでゆっくり休憩をとりながら景色を楽しみました。

下山時、9合目まで整備されているので安心して下れましたが、昨年までの状態だったら難儀したと思います。

長官山手前と長官山からは利尻山がよく見え、CL が「せっかくだからゆっくり見るといいですよ。」と。そこから見る利尻山はハンサムな青年に見え思わず「ハンサムね。」と言うと磯部さんもおとなりで「そうね。」と。皆でうっとりで見ました。周りの雪の残る斜面やゆったりとしたササハラの緑の稜線はとても美しかったです。

甘露泉水までくると雨が降り始めました。

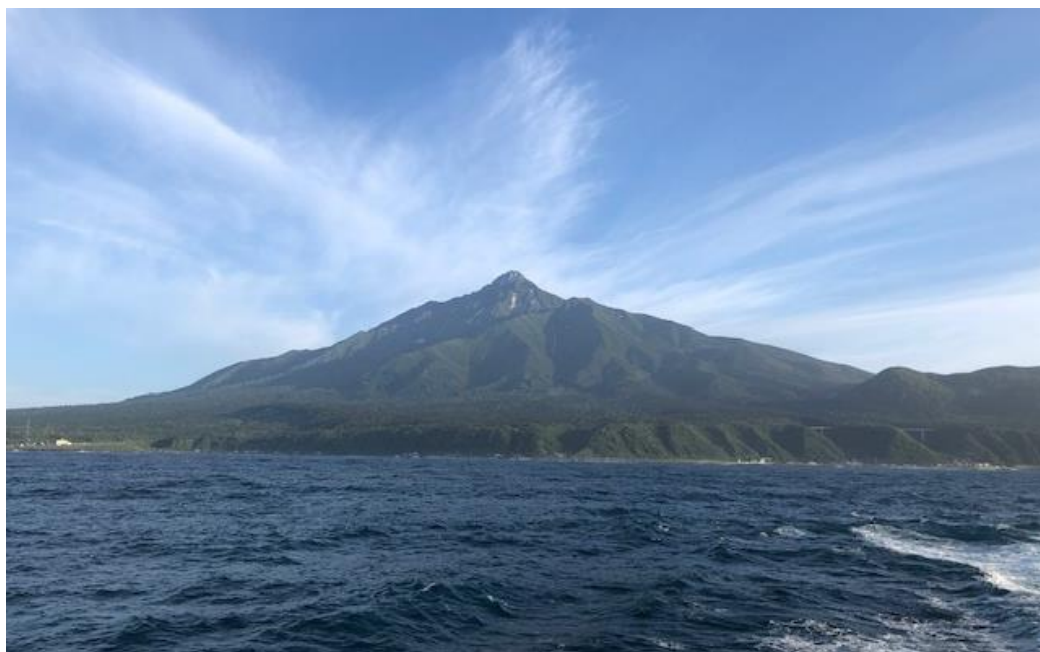


今回の山行は出発日が近づくにつれ、天気予報は悪くなりました。

6月14日(金)成田空港から新千歳空港経由で利尻空港 13:45 着の予定でしたが新千

歳到着時に利尻行き案内には『天候不順調査中』と表示されていました。
天気予報では翌日の15日のみが登山可能。電車で稚内に向かっても14日中に利尻入りは無理と分かり運航を祈りました。12:10にアナウンスがあり、稚内空港又は新千歳に戻ることを前提に運航されたので利尻空港に着陸時皆で拍手をして喜びました。

土曜日の夜から風が強くなり、日曜日礼文島経由で稚内に行く予定でしたが、フェリーが月曜日の夕方まで欠航となり、帰宅が1日遅くなってしまいました。利尻を離れる直前、雲が切れてスッキリとした青空の下、利尻山が姿を現しました。



稚内に向かうフェリーから見た利尻は男前
18日の朝はどんより曇っていましたが、お昼前には雲がきれて利尻が見えました。



今回の山行は正直、登頂できるか自信がありませんでしたが CL のリードのおかげで、登頂も景色を楽しむこともできました。フェリー欠航というハプニングがあったものの、結果いろいろな場所から利尻山を見ることができてめでたし、めでたし。どうもありがとうございました。